

1964 県勢ビッグ・テン

- 1 湯田ダム、衣川防災ダム、仙人発電所等完成し、産業基盤整備着々すすむ。
- 2 一級国道四六号線（南八幡平パークライ
ン）開通す。
- 3 国鉄三陸縦貫鉄道着工きまり、橋場線雫
石・赤淵間開業す。
- 4 宮古港一万吨岸壁完成し、宮古木材港
大船渡防潮工事着工す。
- 5 岩手県総合開発計画、岩手県教育振興基
本計画等策定さる。
- 6 白河パルプ北上工場、ゼネラル電子工業
一関工場、岩手精密工業等、工場誘致続
々きまる。
- 7 岩手県林業公社・住宅公社・観光開発公
社等設置され、公社事業軌道にのる。
- 8 国保乳児十割給付、全国に先がけて実施
さる。
- 9 南米移住地の現地を調査し、南米東北村
の構想打ち出さる。
- 10 「岩手県県章」「岩手県民の歌」「岩手
県鳥」きまる。

県勢は年を重ねるごとに、樹木の年輪のように充実し、発展しています。ことしも新たに県勢の歩みがなされるから、もう一年――。

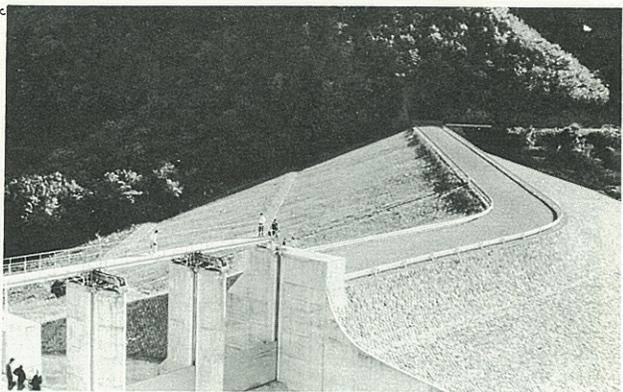
はたして県勢は、どのような足どりを辿ったのか、その一年間の回顧を通して、新年への一層の進展に資するため、さきごろ開かれた庁議で、県勢ビッグ・テンが選ばれました。

「住民に直結した県政」を、モットーとしている千田県政が発足してからの、ことしは二年目に当りますが、その基本的な施策は八本の柱、すなわち①産業基盤の整備 ②農林漁業の近代化 ③工業の振興 ④中小企業の近代化 ⑤観光事業の推進 ⑥教育の振興 ⑦保健福祉の向上 ⑧辺地の振興、によつてすすめられてきました。

県勢ビッグ・テンは、こうした県施策の総決算でもあり、ことしは別稿のとおり選ばれました。

ことしは総じて明るく、そして規模の大きいものも多く、培われたものの成果というものが選ばれています。また県政の方向も順調にすすみ、地固めがなされた年でもありました。

① 湯田ダム、衣川防災ダム、仙人発電所等完成し、産業基盤整備着々すすむ。



完成した県営衣川防災ダム

■湯田ダムは昭和二五年に計画されてから実に一四年ぶりに完成したもので、総工費は一四六・五億円でした。

このダムはアーチ重力式コンクリートダムで五大ダムの一つであ

り、一月五日に竣功式が行なわれました。

また関連事業としての仙人発電所はすでに操業しており、さらに和賀中部開拓建設事業も着工されるなど、和賀流域の基盤整備は着実にすすんでいます。

■衣川防災ダムは県営防災ダム事業の一つであり、総事業費およそ二億七、六〇〇万円で昭和二五年度からはじめられたもので、その第一号ダムが七億四、七〇〇万円で完成、一〇月一日に完工式を行なったものです。

これで一号、五号ダムが完成したので、残りは二、三、四号ダムとなり、これらが全て完成した暁には衣川、平泉、前沢の各流域が水害から守られます。

なおダムは二号を除いて全てアーチダムです。

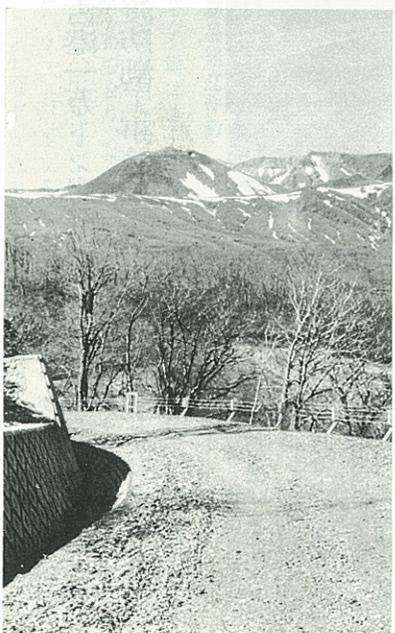
そのほか四十四田ダム（総工費およそ五億四億円）、同発電所（総工費およそ一億七、〇〇〇万円）も着工されており、さらに北岩手開拓建設事業や国営胆沢農業水利事業も、それぞれ完工し、基盤整備は着々とすすめられています。

② 一級国道四六号線（南八幡平パークライン）開通す。

岩手と秋田両県を横に結ぶ一級国道四六号線は昭和三二年に着工され、七年の才月と一八億余円の巨費を投じて完成されたもので、七月一八日から開通しました。

この道路は雫石町から田沢湖町まで三四・八キロメートル、自動車で一時間、盛岡市から角館まで七四キロメートル、自動車で二時間、また盛岡市から秋田市までは一二四・七キロメートル、自動車で三時間半という距離に短縮されました。

かつて「秋田街道」、「南部街道」といわれた佐竹藩、南部藩の交通の要路は、面目を一新して一級国道四六号線となり、この道路の完成と開通を祝つて、別に「南八幡平パークライン」で親しまれています。



駒ヶ岳を眺望できる南八幡平パークライン（県境附近）

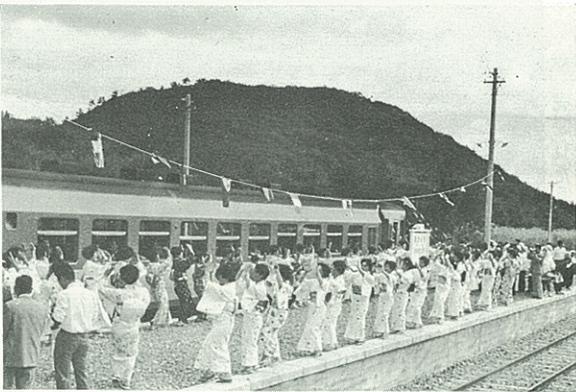
この道路の開通によって岩手・秋田両県の文化経済面の交流はもとより、観光ルートとしても有望な路線となっています。

ちなみに県境には標高およそ八七〇メートルの国見峠、駒ヶ岳を右に眺めながら峠を越す楽しみは格別なものがあります。

また国見峠の近くには、素朴な山の温泉「国見温泉」があり、駒ヶ岳登山を楽しむ人たちの憩いの「いでゆ」となっています。

このように産業経済、観光面に大きく貢献する道路です。

3 国鉄三陸縦貫鉄道着工まじり、橋場線雫石・赤淵間開業す。



この長い間にわたる県民の宿願がようやく昭和三六年五月に調査線に編入され、翌年三月に行なわれた鉄道審議会で着工線に昇格され、本年度に入ってから測量に着手し、いよいよ四〇年度から着工されることが本決まりとなったものです。

そして一〇月二七・二九日に久慈市、大船渡両市で起工式が行なわれ、総工費およそ一九八億円を着工されることになりました。

この鉄道沿線には釜石、宮古、大船渡、久慈などの都市があり、工業港として漁港として恵まれた港を多くかかえ、また全国有数の三陸漁場をもち、さらに陸中海岸国立公園を中心とした多くの観光資源、そして沿岸一帯の鉱産、森林資源など、各種の豊富な資源をもっている地域です。

それだけに、この鉄道の着工は大きな喜びでした。また一方、国鉄橋場線も工事中でしたが九月一〇日、雫石・赤淵間が開通、四一年度には生保内まで全通する予定です。

開通した橋場線赤淵駅で、車石アネコが処女列車を祝った。国鉄三陸縦貫鉄道は、大正一一年に制定された鉄道敷設法によって、わが国で必要な鉄道として、国鉄の敷設すべき予定鉄道線路として定められてからおよそ四〇年間。

4 宮古港一万吨岸壁完成し、宮古木材港、大船渡防潮工事着工す。



そして国庫補助事業としてはじめられた同事業は、昭和三一年から国の直轄施工となり、本年九月一五日に竣功しました。

これによって背後地にある鉱工業、肥料工場、木材加工場の進展がはかられ、増大する港湾貨物の処理が容易になりました。

また宮古港での輸入木材の取扱量の急増に対処するため、輸入木材専用港湾施設を含む宮古港整備計画が昨年六月、港湾審議会で審議答申され、その第一歩として神林地区木材専用港が九月一五日着工され、木材整理水面四万七、〇〇〇立方メートルを造成、木材二九万トンを取扱う予定です。

一方、大船渡港津波対策防潮工事は、本年度から三カ年で総工費およそ一八億五、〇〇〇万円の本格的な工事に着手しました。この地域は臨海工業都市としての大船渡市で、チリ地震津波など多くの災害に見舞われていたが、この工事の完工によって、これらの災害から守られます。

一万吨岸壁の完成によって、宮古港は一段と機能を高めた。

宮古港は昭和二六年に重要港湾の指定をうけ、昭和二九年に国の港湾計画会議の審議を経て改修計画を決定し、一万吨岸壁をはじめめとする出崎埠頭整備に着手しま

5 岩手県総合開発計画、岩手県教育振興基本計画等策定さる。



脱却をもとめ、県民所得水準を全国水準まで近づけることを終局の目標として、昭和三七年三月に、「岩手県経済の長期展望」、同年八月に「岩手県経済計画」を策定してこの経済計画を母体としてまた全国総合開発計画の構想を基本として、さらに北上・北奥羽特定地域総合開発計画の成果をもとにして策定されました。

つまり本県独自の構想によるもので、経済圏別計画として具体的な方向をしめしているところに特性があり、計画期間は昨年からの五年までとなっています。

岩手県教育振興基本計画は、本県の担い手となる県民の能力を高め、人づくりをすすめるために昭和三八年四月に企画され、ついで「岩手県教育振興基本対策審議会」によって計画が練られ、県教育委員会会議で決定したものです。この計画は昭和三七年度を基準として本年度を初年度、四八年度を目標年度として、四年、三年、三年の三つに区分して、目的を達成しようとするものです。

ティーチング・マシンによる学習も、教育の近代化の一つである。岩手県総合開発計画は、昭和三七年一〇月、閣議決定として発表された「全国総合開発計画」などに対応して、こうした全国的な動向をも参考にして、後進県からの

6 白河パルプ北上工場、ゼネラル電子工業一関工場、岩手精密工業等、工場誘致続々さる。



そのために使われる原木は月当たり一万三、四〇〇立方メートルで工場の従業員は四〇〇人みまわれています。

ゼネラル電子工業一関工場は本年三月二日に八欧電機の子会社として一関市に設置されました。同社の資本金は一、二五〇万円、電子および電気機器、おもにラジオ受信機やテレビの組立加工を行なっています。

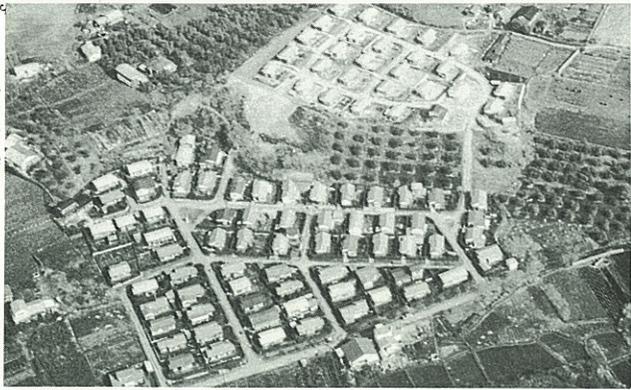
明年からは直接、部品などの製造も行なう予定で、その伸長ぶりが期待されています。岩手精密工業は盛岡市下厨川に資本金一、五〇〇万円、設備費総額四、五〇〇万円、本年二月設立され、新しい精密モデル工場で時計用の耐震装置(軸うけのクッション)を製造しています。

このほか一関市に常盤紙業一関工場、大東町には不二農産工業、江刺市にクミアイ醤油など、いろいろな工場が、本県の特性を活かして操業しており、県でもこれら企業誘致に力を入れています。

ゼネラル電子工業一関工場の部品組立作業

白河パルプ北上工場は北上市笹長根東部に本年三月下旬から工場設置の工事ははじめており、設備資金三五億五、〇〇〇万円、工場設備を整え、晒クラフトパルプを月産四、三二〇トン生産する計画

7 岩手県林業公社・住宅公社・観光開発公社等
設置され、公社事業軌道にのる。



人口の集中する大きな都市では、住宅団地の造成が盛んだ。林業公社は、本県の林業発展の素地ともいえる造林の問題を解決するため、つまり計画的に造林事業を行なうことを主目的として、一月六日に設立されました。

林業公社では昭和四〇年度を第一年次として四九年度までに毎年五〇〇ha、五〇年度から六〇年度までは、毎年一、〇〇〇haづつ造林し、全体で一五六、〇〇〇haの造林を行なう計画です。

■住宅公社は、はじめ昭和三一年五月二五日に発足した住宅協会を本年八月一日に住宅公社と名称変更したもので、その名の示すとおり本県の住宅事情の緩和に努めるべく、住宅地造成、住宅建設など住宅の全てに力を入れています。

■観光開発公社は四月一日に発足しましたが、この公社は本県の観光について、具体的な事業を行なうためにあります。

たとえば観光ホテル、レストハウスなどの観光施設事業もその一つで、本県の観光開発に一役買うものと期待されています。

そのほか県産品を広く県外や海外に販売するため、岩手県産株式会社がつくられ、一月二日に創立総会が行なわれる予定であり、いよいよ本県の公社事業も軌道にのってきています。

8 国保乳児十割給付、全国に先がけて実施さる。



乳幼児の検診も、これからは安心して受けられる

乳児の死亡率の高い本県では、それを解消する一つの方法として県民所得水準と教育水準の向上、婦人の労働条件の改善、住宅環境の改善、道路、通信施設の整備などがありますが、とくに母子保健面の充実がまるところが大きいことはいまでもありません。

そこで本県では、千田県政のプロパーな施策として、乳児に対する国保十割給付を陸前高田市以外の全市町村で実施することにしたものです。この施策は全国ではじめての施策です。

めでの施策であり、その成果は大いに期待されています。

陸前高田市でも明年度からは実施する予定で、これで全市町村が十割給付を行なうこととなります。

つまり、こうした施策に対して、乳児を持つ母親たちが積極的に検診をうけ、大切な赤ちゃんを死なせたりしないようにすることです。ことしからは一才未満の乳児については十割給付されるわけですから、それをムダにしないで活用してゆくようにしたいものです。

9 南米移住地の現地を調査し、南米東北村の構
想打ち出さる。



海外移住事業は、いまでは重要な事業の一つとなっている。千田知事、小池県農務部長らは岩手日報社・岩手放送記者二名とともに、南米四カ国を本年五月六日から、およそ一カ月間にわたって視察しました。

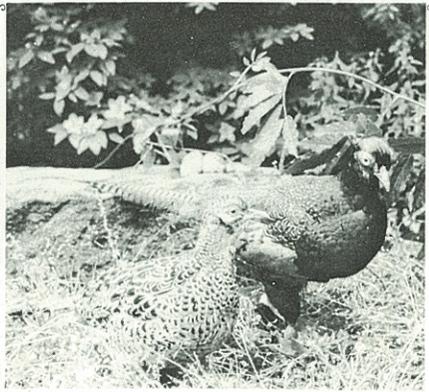
とくにパラグアイ国では、県が昭和三五年から集団移住をすすめてきた「南米岩手村」を視察し、移住した県出身者が着々と新郷土建設に励んでいる実情に接し、県出身者を激励しました。

また知事は、ストロエスネル大統領（パラグアイ国）と会談し、移住事業に対する同国政府の協力を要請し、その結果、パラグアイ国がより多くの日本人の受け入れを希望していることを確認しました。

ことにも同国に海外移住事業団が造成しているイグアスー移住地は、気候や風土がよく、国際道路の開発によって急速な発展が期待されながら、入植の実績が著しく立遅れています。

そこで事情を同じくする東北六県が協力して、イグアスー移住地を開発することが効果的であるとの観点から、東北各県知事に呼びかけ「南米東北村」建設の構想をうち出し、この構想にもとづいて昭和四〇年度から海外移住の積極的な推進がなされることになりました。

10 「岩手県県章」「岩手県民の歌」「岩手県鳥」
きまる。



岩手県鳥になったキジ

県では新庁舎の落成を機会に、「岩手県県章」「岩手県民の歌」また「岩手県鳥」をそれぞれきめました。

■県章は応募総数一、一三七点のなかから選ばれ、一〇月五日に公表され、また県民の歌（歌詞）は三九〇編のうちから選ばれ、一〇月一四日に公表されました。

■県鳥は応募総数一、六一九点のうち、キジが一、四二六点をしめ五月一〇日（愛鳥週間）に正式に

指定されました。

岩手県民の歌

作詞 田原耕二
補作「岩手県民の歌」審査委員会

一 しらくもの うかぶはてまで
はろばろと 蒼き 国原
かぎりなき 未来を こめて
岩手 岩手 ふるさと 岩手
とこしえに 若き 大地よ

二 みちのくの 文化 かぐわし
金色に 咲ける この国
誇らかに いまに 伝えて
岩手 岩手 ふるさと 岩手
胸ふかく 想う その名よ

三 山なみの きわも さやかに
染めなせる あかねの光
かがやける 明日を 徹して
岩手 岩手 ふるさと 岩手
大空に 描く 望みよ

制定された岩手県章

県章

